

一人一人を大切に



矢代田小学校長
桑原 幸男



発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会



コミュニケーションから生まれる、まごころの輪

矢代田小学校にお世話になってから一年がたとうとしています。四月当初から一人一人の子もたちが大切にされる学校を考えてきました。このような視点で見た子どもたちの様子を紹介させていただきます。

一、呼び捨てをやめよう

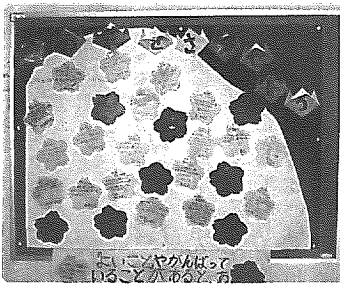
四月、全校の子もたちに、「みなさん一人一人の名前は家族の方々からみなさんへのはじめてのプレゼントです。自分の名前はもちろん、お友だちの名前も大切にしてください。」と話しました。そのため一つの方法として、呼び捨てはやめようと呼びかけ、みんなを取り組んできました。現在校内から呼び捨てがなくなっただけではありませんが、子どもたちの中に次のような姿が見られるようになってきました。

「野外活動の発表のとき、全校の前ではとても恥ずかしいのに、発表できるなんて、一年生なのにすごいね。」
「そうじのとき、いろいろと教えてくれてありがとう。」
「ぼくが、あいさつをするとき必ず返してくれるからありがとう。」

二、よさをみつめよう

「下の学年の子から〇〇さんと呼ばれるとすごくいい気分になる。」
「このような声が聞こえてきました。たかが相手と呼ぶときの言葉ですが、「〇〇さん」と呼び合う中で、他の人を大切にする気持ちが表れてくるのです。」

これは、「あすなる山に花を咲かせよう」という児童会の運動に寄せられた子どもたちのメッセージです。このほかにも子どもたちから職員へ、職員から子どもたちへのメッセージも寄せられています。この児童会の運動が、学級版として学級内のよいこと探しにつながっていると探します。



「あすなる山」は花盛り

この取り組みについては、まごころの町づくりフォーラムで発表させていただきました。また、二学期最後の児童集会では、あすなる山に大きな花を咲かせた子どもたちの代表を児童会が表彰しました。学校全体でこのような取り組みを続けて行く中で、子どもたちがお互いのよさをみつめ合っている姿を数多く見ることができるようになってきました。これは、とても大事なことだと思っています。一人一人が相手を認め、大切にすることに繋がっていくと考えているからです。

小須戸町は、「まごころの町」を宣言しています。子どもたちのこのような姿を大切に、さらに伸ばしていくよう努めていきます。学校内だけでなく、思いまかせ、保護者、地域のみならず、子どもたちの姿を求めています。ご支援、ご協力をお願いします。

ちょこっと一言 (179)

小須戸町に住んで六年が経ちました。当初不安で一杯だった私に、ご近所の方々を始め、知り合った大勢の方々の力を得て今日に至りました。励まして下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今年こそ新しい事に挑戦してみたいという気持ちがあるのですが、今のところ具体的な挑戦する目標が決まっています。とりあえず近年めっきり減ってしまった読書の量を増やしたいと思っています。

大川前

高橋広美さん



現在三人の子育て奮闘中、叱る事は簡単にできるもの。上手に褒めて、やる気にさせる事は、分かっているつもりですが、今年からは褒め上手賢母を目指し努力していきたいと思っております。一年間、笑顔いっぱいになれるよう頑張ります。

声の広場

投稿コーナーです！

図書室で閲覧できます！

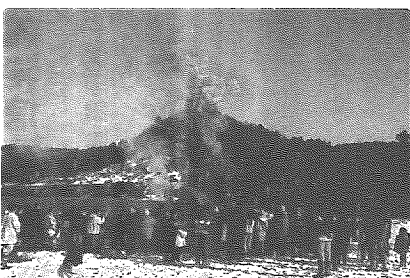
長井利夫(中央町二) 大東亜戦争の末期、児童を戦火から守る為に、縁故疎開を奨励し、その後学校ごとの集団疎開が国策として実施されました。

小須戸町にも昭和十九年八月二十四日、深川区立白河国民学校三年生から六年生まで百五十名が矢代田駅に到着、宿舎の「了専寺」、「吉春」、「中久」に入りました。

終戦までの一年間余りを小須戸国民学校に在籍し、現在は約六十七歳から七十歳です。先日疎開児童の日記が見つかり、本人の許しを頂きコピーして公民館の図書室へ寄贈しました。

当時の疎開児の生活の一部ですが、興味深いものがあります。

「声の広場募集要項」
内容 学校や家庭、友達や人間関係などにおける悩み。感動したことなど。
対象 中学生以上の一般町民
字数 三百字程度
郵送を原則とします。
匿名希望でも結構です。
〒956-0101 小須戸町中央公民館
※なお、記事の選考は公民館報編集委員会でおこないます。



「塞の神」炎とスルメと雪の原(松ヶ丘地区)

カメラ散歩

健康の願いを込めて
～1月の行事あれこれ～
羊年がスタートし、1年の健康と安全を願って、慣例の行事が地域で行われました。
カメラが見た、行事を紹介します。



「寒種古」エー！ヤー！輝く目が頼もしい。(空手道スポーツ少年団)



「しめ縄掛け」願いを編んだ、しめ縄が上がる(鎌倉地区)



太田哲業さん
北越高校3年(本町)

一月四日から福岡県で開催された「第十一回全国小学生バドミントン選手権大会」の男子学年別ダブルスの部で、バドミントンスポーツ少年団の砂井良介君と米田健司君のペアが今年も三位入賞という偉業を達成しました。
当町からは初出場

ぶれあひ電話相談
教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。
◆三月の相談日
七日(金)・十四日(金)
二十八日(金)
◆受付時間
午後一時～五時
◆電話番号
三八一三三〇〇
◎お名前は、言わなくていいです。
◎秘密は、固く守ります。

全国大会への挑戦 (選手紹介)



県高校柔道個人戦で二連覇達成

新潟第一高校二年 田沢宏美 (矢代田八)



力を出し切って来ます

この大会で連覇出来たのは、自分なりに一生懸命毎日練習に取り組んできた事と、いつも熱心に指導して下さった先生方、家族や友達、沢山の人の支えや応援があったからだと思っています。全国大会では、悔いのないよう、去年の成績(ベスト8)を越えられるよう、全力で頑張りたいです。

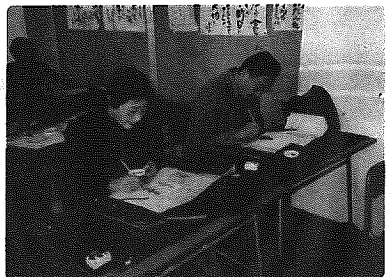
小須戸中二年 石井大介 (矢代田五)
自分の力を全部出して、いい結果が残ればそれで大満足です。
予選で戦った、友達の名前で頑張ってきたと思います。



会での活躍に期待しております。協会として今年度から創設したばかりの快挙ですが、バックアップとして送りたいと思います。応援して下さい。紙面を借りお礼を申し上げます。
(ソフトテニス協会 伊藤尚)

全国大会へ出場決まる!

去る、一月十九日・下越スポーツハウス(黒川村胎内)で行われた都道府県対抗中学生ソフトテニス大会の新潟県第二次予選会に於いて、小須戸中学校二年生の保科友佳里(写真右・矢代田六)・増井晴菜(写真左・矢代田四)の二人が見事優勝し、三月二十六、二十七、二十八日の三日間、三重県伊勢市で開催される全国大会に出場が決定しました。彼女二人は小学生六年生の時も全国小学生大会に出場しており二度目の全国大会出場となります。



「古代文字を使った工作を楽しむ」

学ぶことって楽しいね

高等学校の専門的教養を町民の皆様が学んでいただく「新津南高等学校学校開放講座」は、講座を始めてから今年で十九年目を迎えました。今回も国際文化、歴史・音楽など多彩な分野を学習しました。
高校の教室を使った実習では、「学ぶことは楽しいね。」との声が寄せられています。

Let's go スポレック

中央公民館では、ニュースポーツ「スポレック」の普及に努めています。
スポレックは、テニスのようなルールでスポンジボールを打ち合うお手軽スポーツです。運動量を自分に合わせるにより幅広い年齢層で楽しめます。



「スポレック教室」は中央公民館へお問い合わせ下さい。

公民館よりお知らせ

次回三月号の公民館報では、新年度からスタートする各種教室・講座の参加者募集の記事を掲載いたします。

催し物のご案内

- ◎おはなしのせかいへ (絵本の読み聞かせ)
 - 日時 二月十五日(土)
 - 三月十五日(土)
 - 午前十時半～十一時
 - 会場 中央公民館二階和室
 - 対象 幼児から大人まで
 - 読み手 おはなしばけつと
 - 主催 中央公民館
- ◎老人クラブ連合会の「お楽しみ会」にご参加を
 - 第二十五回「老連お楽しみ会」を、次の通り開催します。
 - 多数の皆さんご参加下さい。
 - 日時 二月二十三日(日)
 - 午前九時三十分から
 - 会場 中央公民館三階ホール
 - 主催 町老人クラブ連合会

火災が急増中

白根地域広域事務組合管内では、今年に入ってから火災が六件発生しており火災で亡くなられた方もいらっしゃいます。
火災は他人事ではなく、自分にも起こりうる災害であることを今一度意識し、火災を起さないために、何度でも注意を払ってください。
《火の用心7つのポイント》
①ストーブには燃えやすいものを近づけない!
②電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない!
③天ぷらを揚げるときは、その場を離れない!
④寝たばこやたばこの投げ捨てをしない!
⑤家の周りに燃えやすいものを置かない!
⑥風の強いときは、たき火をしない!
⑦子供にはマッチやライターで遊ばせない!

あなたもできる「情報発信」

小須戸町ホームページ(地域ポータルサイト)活用講座
町では地域インターネットの整備に伴って、住民参加型のホームページ講座(地域ポータルサイト)を開講します。
興味等を生かして、情報発信をしてみませんか。
ただし、営利活動・政治活動・宗教活動は不可。
日時 三月十八日(火)・三月二十日(木)
午後七時～九時
会場 ふれあい会館(研修室)
◆中央公民館コース
日時 三月二十五日(火)・三月二十八日(金)
午後七時～九時
会場 中央公民館(視聴覚室)
対象 十八歳以上(定員各十名)
パソコンで文字が打てる方・参加費無料
持ち物 パソコン(文字が打てる方・参加費無料)
公民館でパソコンを十台用意しますが、各自の使ったノートパソコン持参でも可。
内容 一回目 町のホームページ活用の仕方
二回目 ホームページ発信の仕方
指導者 町役場総務課職員
申込み 三月七日(金)までに公民館へ

小須戸町PTA連絡協議会 講演会のご案内

幼稚園・保育園・小学校の保護者の方へ
是非お話を聞きましょう。
日時 3月1日(土) 午後2時～4時
会場 ふれあい会館多目的ホール
演題 「本が好き」といふこと(白根市立図書館長 栗村節子氏)
講師 栗村節子氏
主催 小須戸町PTA連絡協議会

図書だより(新刊案内)

- 中央公民館 ▲まだ17歳だけど、人生って面白いと思う 岩淵 大起
- 研修医 純情物語 川淵 圭一
- パーク・ライフ吉田 修一
- 不美人論 陶 智子
- プチナシヨナリズム症候群 香山 リカ
- なるほどの対話 河合 隼雄
- ユカリユーシヤ 吉本ばなな
- iモード以前 斉藤友佳里
- 水滸伝 嵐翠の章 松永 真理
- 神々の世界(上・下) 北方 謙三
- 家なき鳥 グラハム・ハンコック
- ネクススト・ソサエティ グロリア・ウィーラン
- P・F・ドラッカー

文芸欄

着ぶくれて農魂丸くなりけり 丸山虚秋
瑞雲のかかる宮居に今朝の春 佐久間久子
冬晴れや「丘を越えて」のハモニカ 中野太浪
朝湯して師走の日々のけふも老ゆ 内山越樓
たかが風邪されど風邪よと電話口 間野良遊
裸木にすけてまたたく星一つ 渡辺信子
寒星や病重しと人づてに 間野えり
活花のとり残されて冬坐敷 安達キヨノ
一月の俳句展示も公民館 田沢 弘

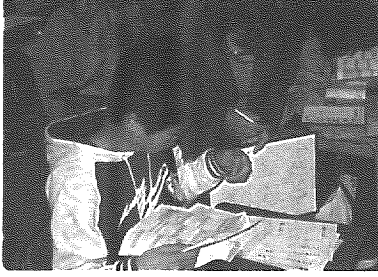
折れよか愛の余熱があるうちに 小林みのる
中バツバ余熱で蒸らす炊き上手 渡辺信子
フルムーン余熱で明日をしたたかに 栗原ひさし
中締めを終えて二次会行く余熱 保科一路

シリーズ 「今、子どもたちは」(77)

めざせ!ピタゴラス

五年生の掲示板に、算数の問題が張り出されました。
1時間でなくなる蚊取り線香が2つあります。これを使って45分を計ってください。

頭を寄せ合って考えこんだり、何やら書きながら議論し合ったりする姿が見られるようになりまし。 「分度器で測ればいいよ」 「はさみで切つてつなげば」 「ひもで長さを測ろうよ」 なかなか正解が見つかりません。ところが次の日、一人の子どもがひらめきました。 「真ん中にも火をつけたら半



「そうか!なるほど」